はくほうWalker

No.9

広報誌名「はくほうWalker」
はくほう会セントラル病院は地域住民や患者様と共に歩むという想いが込められています。

心臓血管外科のご紹介

～心臓・下肢など血管治療はお任せください～

不整脈外来のご紹介

～心臓治療の幅がさらに広がりました～

ワクチン接種への取り組み

リハビリテーション部

患者様の生活を支えます！

介護老人保健施設はくほう 新築移転

今年の新入職！！

今年の新入職

楽しい！と言ってもらえるような
リハビリを提供していきます。

先輩から技術を吸収し、
成長していきます。

早く一人前の臨床検査技師になれるよう、
日々精進していきます。

医療機器のスペシャリストとして、
他職種からも信頼される
臨床工学技士を目指します。

よろしくお願いします

笑顔で頑張ります！

信頼される
言語聴覚士に
なります！

より良いリハビリテーションを
提供していきます

一人前の作業療法士
になれるよう
先輩から学んでいきます

一人前の作業療法士
になれるよう
頑張ります！

患者様に合ったリハビリテーションを提供していきます

吉岡 知美　医師

リハビリテーション科に新しい医師が着任されました！

回復期の1病棟あたり医師2名を配属することができ、患者様の回復に向けたチーム医療の質をより一層高めることができます。患者様の日常生活を最大限に高め、自宅での生活を見据えたアプローチを心がけて回復期病棟全体で取り組んでいきます。

集団ワクチン接種の取り組み

はくほう会セントラル病院は5月末より集団ワクチン接種を行っています。
1日200人規模のワクチン接種を行いましたが、スタッフ、患者様の協力があって問題なく進めることが出来ています。

ワクチン接種の流れ(はくほう会式)

※患者様は椅子に着席して頂いてから動くことはありません

スタッフが順番に患者様のもとに向かいます

問診票の確認

↓

医師の問診

↓

ワクチン接種

↓

15分間の待機
（問診票の回収、次回の案内等はこの時間に行います）

副反応が発生しても迅速に対応できるよう医師・看護師・コメディカルで常に連携をしています。

心臓血管外科 紹介

2019年8月より、心臓血管外科外来を担当させていただいております北川敦士と申します。月曜日の午前、午後に主に下肢静脈瘤、閉塞性動脈硬化症について診察、手術を担当しています。およそ、この2年弱の間に45件の手術（主には下肢静脈瘤のラジオ波下肢静脈瘤血管内焼灼術、図1）を行い、いまのところ、大きな有害事象を起こすことなく、経過しています。今後も安全かつ患者様にやさしい治療を日々心掛けていきます。

病態について

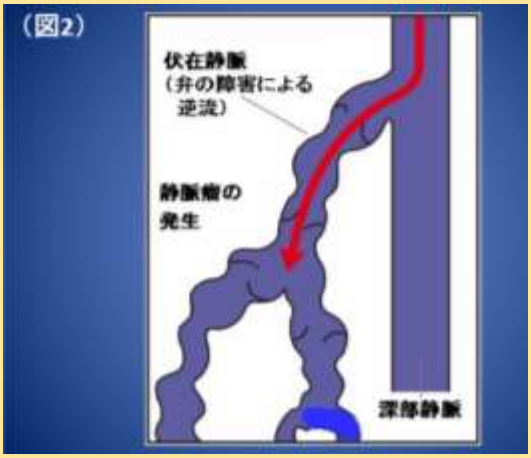
下肢静脈瘤は静脈と呼ばれる血管の病気です。もともと、人間の血管には、動脈と静脈があります（図2）。動脈は、心臓から酸素をたくさん含んだ血液を末梢組織に運びます。静脈は末梢組織からの血液を心臓に返す役割があります。この静脈の一つに表在静脈（主に皮膚の下に存在）があり、これが長年の立ち仕事や妊娠、年齢などいろんな原因から、静脈弁と呼ばれる一方弁が壊れ、閉じなくなります（図2）。それが進行すると、下肢の膝から下に静脈血がうっ滞し、静脈瘤の症状（下肢のだるさ、瘤、むくみ、かゆみ、皮膚の色素沈着や潰瘍性病変）が出現します。死に至る病気ではありませんが、足が悪くなると活動性の低下や生活がおっくうになり、高齢の患者さんでは、運動不足からフレイルな状態になりえます。

治療について

以前は入院下の外科手術（静脈ストリッピング術）が主流でしたが、2010年から、国内でもレーザー治療が保険適応となりました。その後、治療器具の進歩により、2014年からは、ラジオ波（高周波）による静脈瘤治療ができるようになりました(図1)。　本治療法のメリットは、旧来のレーザー治療と比べて痛みが少なく、皮膚切開を行わず、短時間（一肢あたり約20～30分程度の所要時間）で施行可能な日帰り手術であることです。術後早期から、家庭生活、仕事も可能であり、術後の静脈瘤再発回避率は、3年で94％と、治療成績も優れています。
尋ねてみたい、困っているなど、何か疑問があれば、お気軽に当科外来を受診ください。

（図1）

（図2）



本年１月より、非常勤医師として赴任いたしました心臓血管外科の廣田真規と申します。現在、岡山大学病院で常勤をしており、この度、毎週金曜日に週１回、はくほう会セントラル病院で勤務させていただくこととなりました。赤穂中央病院にも、開心術の際にお手伝いさせていただいております。当院では、下肢静脈瘤をはじめ、足の血管が細くなる閉塞性動脈硬化症などの血管病変の治療を担当させていただきます。閉塞性動脈硬化症は、間欠性跛行と呼ばれる症状が特徴的です。歩行すると足が痛くなり歩行できなくなり、しばらく休むと回復して歩行ができるようになる症状です。
もしかしたらと思われる場合には、是非当院外来を受診いただければと思います。よろしくお願いいたします。

血管外科（フットケア外来）北川医師
毎週月曜日9:00～12:00
14:00～16:30（予約制）

心臓血管外科　廣田医師
毎週金曜日9:00～12:00
14:00～16:30
※休診の場合がありますので、お問い合わせいただくか、ホームページ等でご確認ください。

不整脈外来 紹介

循環器内科
垣下 幹夫医師

2020年12月より第1、第3木曜日の不整脈外来を担当しています。心臓の脈が早くなったり、遅くなったり、不規則 になったりなど脈がみだれるものを不整脈と呼びます。治療は経過観察でいい場合や内服薬からペースメーカーなどの機械を植込む治療、カテーテルアブレーション（心筋焼灼術）といって不整脈の起源を高周波によって心筋壊死させ根治させる治療など、不整脈の種類や基礎心疾患によって様々です。

脳卒中と不整脈の関係

脳卒中は血管が破れる脳出血と血管が詰まる脳梗塞に大別され、患者さんの4分の3が脳梗塞です。脳梗塞には、動脈硬化によって起こるものと、心臓の病気が原因で起こるものがあります。脳梗塞の3分の1が心臓の病気が原因で起こる脳梗塞で、心原性脳梗塞といい、その多くは心房細動という不整脈の一種によって起こります。

心房細動とは、心臓の心房と呼ばれる部屋がけいれんするように小刻みに震え、規則正しく収縮と拡張が出来なくなった状態を言います。心房がけいれんすることにより、血液の流れが遅くなり、よどんで滞るため血の塊（血栓）が出来やすくなります。心臓内で大きくなった血栓がはがれて血流にのって、脳の太い血管を詰まらせ脳梗塞をおこします。プロ野球の長嶋茂雄元巨人軍監督やサッカー日本代表のイビチャ・オシム元監督がなったことでも知られていいます。心房細動は加齢に伴い発症しやすく、日常生活のストレス、疲労、寝不足、飲酒、喫煙、肥満、高血圧、糖尿病、心不全、心筋梗塞、心臓弁膜症、甲状腺機能亢進症、慢性腎臓病などが誘発要因となります。心房細動がある人は心房細動のない人に比べると、脳梗塞を発症する確率は約5倍高いと言われています。

アブレーション治療風景

治療について

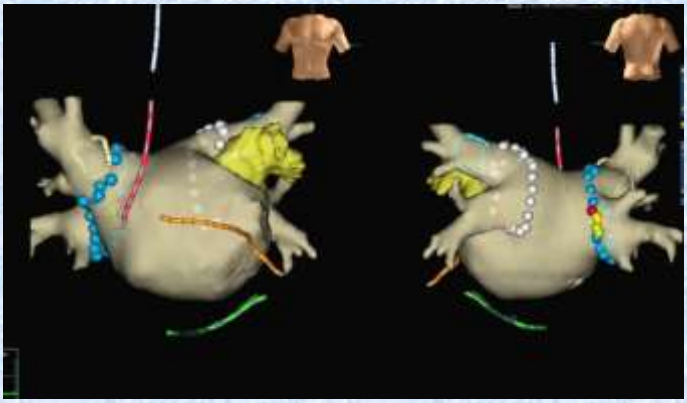
治療には血液を固まりにくくする抗凝固薬の内服が必要ですが、最近では脳出血の副作用が少なく、食事制限が不要など使いやすい薬も登場しています。心房細動自体を抑える治療としては、抗不整脈薬の内服や心房細動の原因となっている部分を心臓内部からカテーテルという細長い医療器具の先端を当てて焼き切る、カテーテルアブレーションという方法もあります。当院では積極的に根治を目指すカテーテルアブレーションを最先端の機器を使い安全かつ効率的、効果的に施行しています（下図）。

心房細動が原因で発症する心原性脳梗塞の予防は、心房細動の早期発見、早期治療です。生活習慣病の改善とともに、日ごろから検脈をしてみて脈の乱れを認めたら一度、不整脈外来を受診してみてください。

電気的肺静脈隔離術

不整脈外来　診察日
第1･3木曜日：
9:00~12:00

※休診の場合がありますので、お問い合わせいただくか、ホームページ等でご確認ください。



3Dマッピングシステム(エンサイトシステム)

リハビリテーション部

私たち、リハビリテーション部は
４月より**100名**の部署となりました。

理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）・リハ助手
で構成されており、
若々しさ溢れるメンバーで患者様の
日常生活に寄り添えるよう努めています！

急性期

治療中の状態から早期に介入し、活動低下を来さないようにします。心リハ指導士、呼吸認定療法士が在籍し、専門性に特化したリハビリを提供します。

回復期

「歩けるようになりたい」、「料理がしたい」、「仕事に戻りたい」、「御飯が食べたい」などの目標を共有し、その人に合わせたリハビリを提供します。先進機器も多数揃えており、人の力だけでは出来ないことも行えます。

地域包括

急性期治療を終えた方や介護休息による一時的な入院の方が自宅・施設へ安全に帰るために、日常生活動作の向上、環境やサービスの調整を行います。集団リハビリを多種多様に行い、自律した生活の獲得を目指します。

地域（訪問・通所・外来）

訪問では自宅での日常生活に即した運動や自宅で困っている点に対して介入します。病院まで通える方は、個別リハと自主トレーニング指導、先進機器を用いた運動などその人に合わせたプログラムで行います。

介護老人保健施設 はくほう　新築移転

2021年7月1日からスタートします。

老健はくほうの3つの特徴

1. ユニットケアの充実

お部屋は全室個室。個室の先にはコミュニケーションの場でもある専用のリビングスペースあり。

2. 多職種でのチームケア体制

医師・看護師・介護士・リハビリ・栄養士などでチームを形成し、利用者にとって最適なケアを提供します。

3. 自営での食事提供

利用者様一人ひとりの健康状態を確認し、最適な献立を決めています。

住所：尼崎市若王寺3丁目13番20号
(はくほう会セントラル病院より車で約5分)
TEL：06-4960-8940(代表)
URL：https://www.amahakuho.jp/roken/

病院ホームページのご案内

はくほう会セントラル病院では、ご利用いただく全ての方々に、見やすく、分かりやすく情報をお伝えできるように、ホームページ、SNSを随時更新しております！また、日々更新、最新情報を掲載するように努めています。

はくほうかい

ホームページ アドレス　http://www.amahakuho.jp/

LINE 公式アカウント

友だち　募集中

facebook

（Facebook, Inc.）

Instagram

スマホをお持ちの方はQRコードから

地域の医療を支える仕事
一緒に働いてみませんか

職員募集中！

看護師・管理栄養士・リハビリ・社会福祉士・介護員
などなど多くの職種・お仕事があります！

詳細はホームページをご覧になるか、直接お問い合わせください。

RE Actionは、2050年までに再生可能エネルギーで事業のエネルギーの100％を賄うという取り組みです。

再エネ100宣言 RE Action

伯鳳会グループは、全国の医療業界からただ一つのスターティングメンバーとして、この取り組みに参加しました。

【編集後記】

1回目の緊急事態宣言が出てから、早いもので1年がたちました。この1年、遠く離れた家族や友人に会えず、寂しい日々もありました。その中でも「あなたたちも大変ね」「ありがとう」といった言葉に励まされ、COVID-19という未知のウイルスに奮闘してきたように思います。そこに現れた一筋の光がワクチンです。ワクチン接種が進んでいる欧米では、以前と同じように家族とご飯を食べたり、友人と遊んだりと生活もすっかり元通りになりつつあります。そのような日常に戻りたいと願っている多くの人にワクチンが早く届いてほしいと切に願うばかりです。

さて、日本ではもうすぐオリンピックが開催されます。賛否の意見が飛び交っていますね。選手に対して反対してくださいといったコメントが多く寄せされているとの報道がありました。不安を感じている選手に重荷を背負わせるのに疑問を感じます。選手自身も人間ですし、色んな考えがあると思います。きっと不安にも思うこともあるでしょうし、このままでいいのかと悩むこともあると思います。選手はオリンピックという舞台を夢に見て頑張ってきています。その夢が叶うのなら、チャンスがあるのならばそれを掴みたいと願うはずです。もちろん夢よりも大事なことがあるといった意見も尤もだと思います。一人一人に色んな意見があるからこそ、一丸となって今という大きな苦境を変えていければと願います。オリンピックで活躍している選手を見て、未来の子供たちがまた大きな夢を抱けるような日常が戻るよう、我々ももう少し奮闘していきます。

はくほう会セントラル病院　広報委員会

医療法人伯鳳会
はくほう会セントラル病院
兵庫県尼崎市東園田町4丁目23番1号
TEL：06-4960-6800（代表）
FAX：06-4960-6900

令和３年7月　発刊